



- 1 歩車分離式信号機であるが、歩行者信号に関しては、歩行者横断秒数が短く渡りきることでできない児童が多くおり危険なため。
 <対策> 下校時に横断時間を延長する
- 2 交通量が多い。5 叉路という特殊な道であり、通行する方に通学路という意識が低い。また、歩道が狭く、歩行者と自転車との接触等も考えられる。
 <対策> 学校での交通ルールの指導の徹底を依頼する。
- 3 新道開通に伴い、通行量が多い上に、児童の姿があっても止まらない車が多いため、PTAとしても警察のパトロールの陳情にも行っている。
 <対策> 学校での交通ルールの指導の徹底を依頼する。
- 4 死角が多いに加え、車がスピードを落とさないことが多い。
 <対策> R4年度に注意看板を設置済み。(現地にカーブミラーも有)
- 5 登校時の交通量が多く、スピードが出ており、児童の姿があっても止まらない車も多い。保護者からは、警察のパトロールを要望する声がある。
 <対策> 通学路の変更の検討を依頼する。
- 6 登校時の交通量が大変多く、法定速度を超過して通る車も多い。また、下校時には東西に信号のない横断歩道を渡ることがあるため。
 <対策> 横断歩道補修済
- 7 交通量が多い。また、信号がなく、死角になっているため。
 <対策> 学校での交通ルールの指導の徹底を依頼する。